

さあ、保険の新次元へ。

**T&D** 保険グループ

# T&D

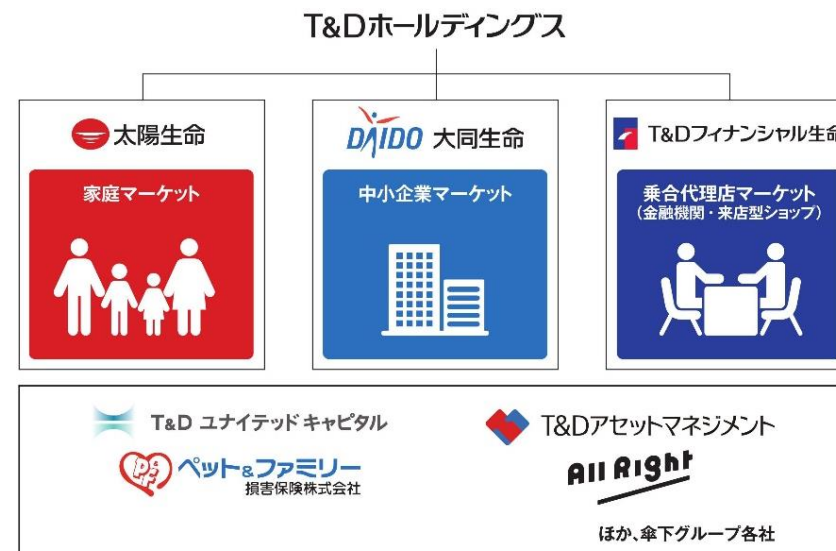
## T&D保険グループ 2023年3月期決算のお知らせ

2023年5月15日

株式会社 T&Dホールディングス

# 目次・グループストラクチャー

[2023年3月期決算のサマリー]	P. 2
1. T&D保険グループ決算の概況	P. 4
2. 国内生命保険事業	P. 8
3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業	P. 14
4. 通期業績予想・株主還元	P. 16
【参考】新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況	P. 17



T&D保険グループのT&Dホールディングス傘下には、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の中核生保3社のほか、グループの事業ポートフォリオの多様化を担うT&Dユニテッドキャピタル（クローズドブック事業等）やT&Dアセットマネジメント（アセットマネジメント事業）、ペット&ファミリー損害保険（損害保険事業）、All Right（ヘルスケア・健康領域におけるサービス提供事業等）等のグループ会社があります。

## <本資料における計数の定義>

連結	: T & Dホールディングス（連結）
3社合算	: 生命保険会社3社（太陽生命、大同生命、T & Dフィナンシャル生命）の単純合算

## [2023年3月期決算のサマリー]

## ■ 1. T&amp;D保険グループ決算の概況

詳細はP4~7

	2022/3期	2023/3期	前期比
経常収益	26,143 億円	32,141 億円	+22.9 %
グループ修正利益 ※1	392 億円	902 億円	+129.9 %
親会社株主に帰属する 当期純利益 (△は純損失)	141 億円	△ 1,321 億円	- %

- 「経常収益」は、国内生命保険事業の契約業績好調等により、前期から増加。
- 「グループ修正利益」は、昨年度の太陽生命の再保険取引による損失の反動等により前期から増加。
- 「親会社株主に帰属する当期純利益」は、海外再保険関連会社（以下、フォーティテュード社）における、米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等により前期から減少。

## ■ 2. 国内生命保険事業（3社合算）

詳細はP8~13

	2022/3期	2023/3期	前期比
新契約年換算保険料	1,219 億円	1,508 億円	+23.7 %
	2022/3末	2023/3末	前期末比
保有契約年換算保険料	15,431 億円	15,650 億円	+1.4 %
	2022/3期	2023/3期	前期比
保険料等収入	17,733 億円	21,683 億円	+22.3 %
	2022/3期	2023/3期	前期比
基礎利益 ※2	1,729 億円	930 億円	△ 46.2 %
	2022/3期	2023/3期	前期比
修正利益 ※1	38 億円	857 億円	- %
	2022/3期	2023/3期	前期差
新契約価値 ※3	1,669 億円	1,670 億円	+1 億円

- 主力商品の販売好調や対面・非対面を融合した営業活動の実践により契約業績は堅調。「新契約年換算保険料」および「保険料等収入」とも、前期から増加。
- 「基礎利益」は、コロナ関連の支払増加および為替ヘッジコストの増加等により前期から減少。

※1 グループ修正利益とは、親会社株主に帰属する当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整したグループ経営実態を表す指標のひとつです。（詳細はP5参照）

※2 2023/3期より基礎利益の算出方法が変更になっています。2022/3期は、変更後の基準で算出した金額を記載しています。改正前基準による2022/3期の基礎利益は1,840億円です。

※3 新契約価値とは、当期中に販売した新契約（転換契約を含む）の価値を表したものです。

## [2023年3月期決算のサマリー]

### ■ 3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業 (T&Dユナイテッドキャピタル(連結)・T&Dアセットマネジメント・ペット&ファミリー損害保険合算)

詳細はP14~15

	2022/3期	2023/3期
修正利益	185 億円	81 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益(△は純損失)	△ 79 億円	△ 2,126 億円

- 「修正利益」は、T & Dユナイテッドキャピタルの主要投資先であるフォーティテュード社において、米国マーケット変動の影響に伴い、変額年金保険ブロックでの損失が発生したこと等により前期から減少。
- 「親会社株主に帰属する当期純利益」は、フォーティテュード社の米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等により前期から減少。

### ■ 4. 通期業績予想・株主還元

詳細はP16

#### □ 通期業績予想

	2023/3期 実績	2024/3期 予想
グループ修正利益	902 億円	1,000 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益(△は純損失)	△ 1,321 億円	870 億円

- 2024年3月期の通期業績予想は、「グループ修正利益：1,000億円」、「親会社株主に帰属する当期純利益：870億円」の見込み。

#### □ 株主還元

##### 【配当金】

	2023/3期 予定	2024/3期 予想
1株当たり年間配当金	62.0 円	70.0 円
(うち中間配当)	31.0 円	35.0 円

- 2023年3月期の期末配当金は1株当たり31円。中間配当とあわせた1株当たりの年間配当金(予定)は、62円。  
2024年3月期の1株当たりの配当金(予想)は2023年3月期より8円増配の70円。9期連続の増配予定。

##### 【自己株式取得】

2023年3月期に 帰属する自己株式取得	取得期間 2022/11~2023/3	取得予定期間 2023/5~2024/5
約600 億円	約200 億円	400 億円

- 2023年3月期の株主還元として400億円を上限とする自己株式取得の実施を決定。2022年11月より実施した約200億円とあわせた自己株式取得の実施額は約600億円。

# 1. T&D保険グループ決算の概況（連結損益）

## ■ 連結損益

(単位：億円)

	2022/3期	2023/3期	前期差	前期比
<b>経常収益</b>	26,143	32,141	+5,997	+22.9%
うち保険料等収入	17,819	21,782	+3,962	+22.2%
うち資産運用収益	4,769	5,007	+238	+5.0%
うち利息及び配当金等収入	3,198	3,242	+43	+1.4%
うちその他経常収益	3,387	5,351	+1,963	+58.0%
<b>経常費用</b>	25,573	32,882	+7,309	+28.6%
うち保険金等支払金	21,741	25,479	+3,737	+17.2%
うち責任準備金等繰入額	19	29	+9	+49.2%
うち資産運用費用	823	1,910	+1,087	132.1%
うち持分法による投資損失	-	2,173	+2,173	-
<b>経常利益（△は損失）</b>	570	△ 741	△ 1,311	-
特別損益	△ 98	△ 74	+23	-
契約者配当準備金繰入額	242	223	△ 19	△ 7.8%
税金等調整前当期純利益	229	△ 1,039	△ 1,269	-
法人税等合計	85	277	+192	+226.6%
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益（△は純損失）</b>	141	△ 1,321	△ 1,463	-
<b>グループ修正利益</b>	392	902	+510	+129.9%

- 「経常収益」は保険料等収入の増加等により前期より増加したものの、保険金等支払金、資産運用費用の増加に加え、フォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損失の発生により、「経常利益」「親会社株主に帰属する当期純利益」は前期より減少。詳細は以下のとおり。

### <主な増減要因>

- ① 新契約の増加等
- ② 国内生保事業の既契約再保険取引実施に伴う責任準備金戻入等
- ③ 外貨連動型保険の解約増加、コロナ関連の支払増加等
- ④ 為替ヘッジコストの増加等
- ⑤ フォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損失等

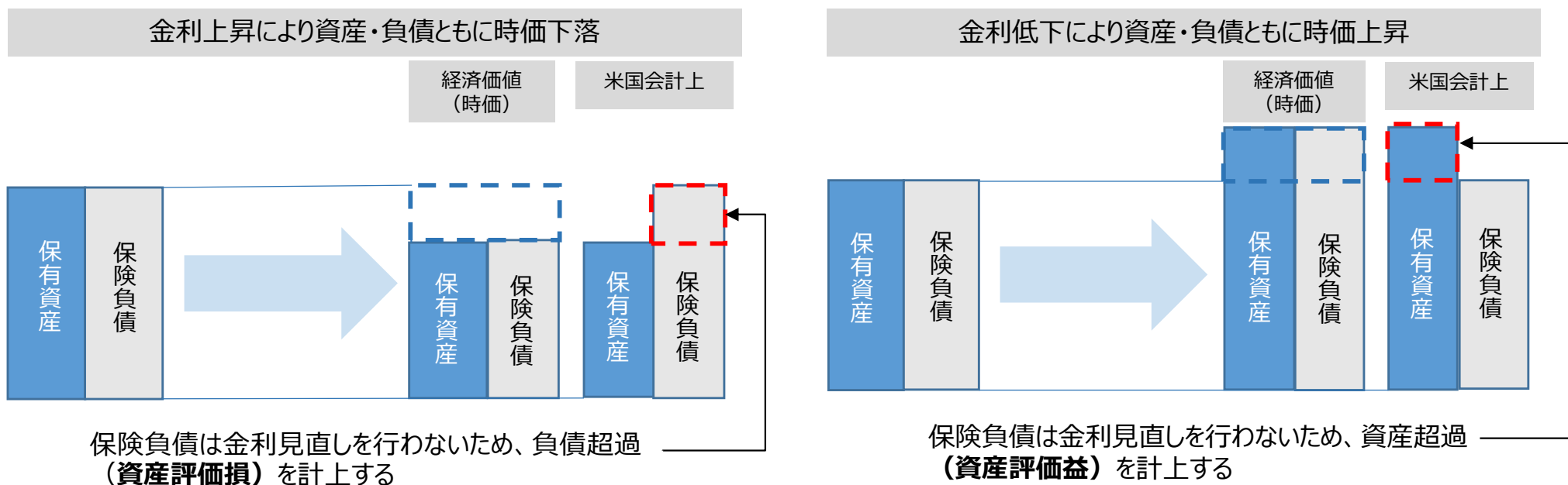
- 「グループ修正利益」は、昨年度の太陽生命の再保険取引による損失の反動等により前期から増加。

## 【参考】グループ修正利益

### ■グループ修正利益

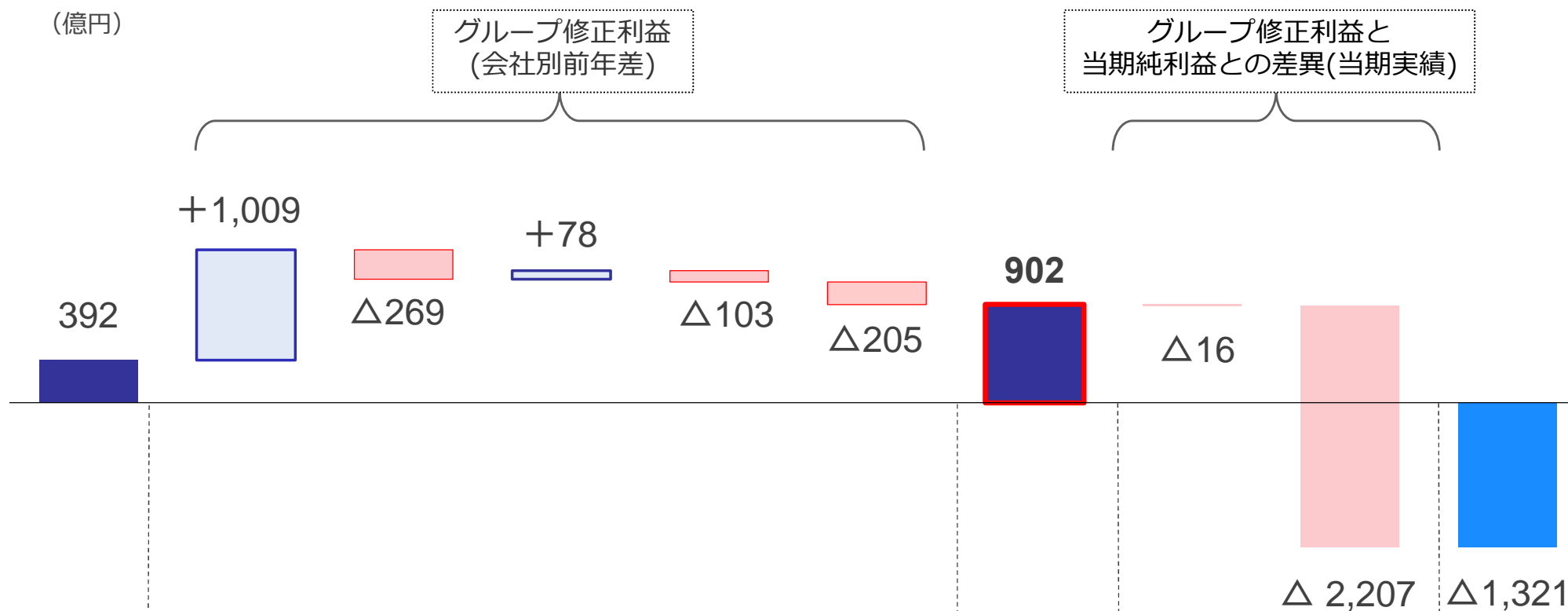
- 当グループでは、ALM(Asset Liability Management)を実施し、金利リスクを含めた各リスクをコントロールして資産と負債を総合的に管理している。一方、保有資産と保険負債の評価方法の違いから会計上の一時的な評価性損益が計上されるケースがあるため、この評価性損益等を調整※した「グループ修正利益」を、経営実態を表す指標としてKPIに設定し、また、株主還元もグループ修正利益に基づいて行っている。  
※調整の対象は、フォーティテュード社に係る一時的な評価性損益や市場価格調整（MVA）に関連する評価性の損益等
- 当期の修正利益の調整額は+2,224億円。主に、米国金利上昇に伴い、米国会計基準の資産・負債の評価方法が時価・簿価と異なることにより、フォーティテュード社で発生した一時的な評価性損失を調整。

### 【米国金利変動時における評価性損益の計上の仕組み】



# 1. T&D保険グループ決算の概況（グループ修正利益）

## ■ グループ修正利益の増減内訳と親会社株主に帰属する当期純利益との差異



実績	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命	T&D1+イットキャピタル	その他*	グループ修正利益	MVA関係損益	フォーティード社に係る評価性損益等	当期純利益 (△は純損失)
2022年3月期 ①	△741億円	762億円	17億円	186億円	168億円	<b>392億円</b>	14億円	△265億円	<b>141億円</b>
2023年3月期 ②	268億円	493億円	95億円	82億円	△37億円	<b>902億円</b>	△16億円	△2,207億円	<b>△1,321億円</b>
② - ①	1,009億円	△269億円	78億円	△103億円	△205億円	510億円	△30億円	△1,942億円	△1,462億円

※ 上記4社以外の連結子会社の利益並びに連結相互会社間の調整等

# 1. T&D保険グループ決算の概況 (MCEV)

## ■ MCEV

(単位：億円)

	2023/3末	前期末差
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	33,313	△ 1,771
生命保険事業のMCEV	34,403	+257
うち太陽生命	10,842	△ 503
うち大同生命	22,225	+743
うちT&Dフィナンシャル生命	1,266	+152
生命保険以外の事業に係る純資産	△ 1,090	△ 2,029

\* 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV (エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。

\* 「生命保険以外の事業に係る純資産」の前期末差 (△ 2,029億円) には、フォーティテュード社に係る会計上の一時的な評価性損失等 (△ 2,169億円) を含んでいます。



## 2. 国内生命保険事業（新契約・保有契約・新契約価値）

### ■ 新契約の状況

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3期	前期差 (前期比)	2023/3期	前期差 (前期比)	2023/3期	前期差 (前期比)	2023/3期	前期差 (前期比)
新契約年換算保険料	1,508	+289 (+23.7%)	333	△ 8 (△ 2.5%)	670	+63 (+10.5%)	505	+233 (+86.1%)
うち第三分野	383	+23 (+6.7%)	207	+9 (+5.0%)	173	+18 (+11.7%)	3	△ 3 (△ 56.3%)

\* 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

### ■ 保有契約の状況

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3末	前期末差 (前期末比)	2023/3末	前期末差 (前期末比)	2023/3末	前期末差 (前期末比)	2023/3末	前期末差 (前期末比)
保有契約年換算保険料	15,650	+218 (+1.4%)	5,727	△ 73 (△ 1.3%)	8,020	+31 (+0.4%)	1,902	+260 (+15.9%)
うち第三分野	2,870	+94 (+3.4%)	1,336	+58 (+4.6%)	1,499	+35 (+2.4%)	35	+0 (+2.3%)

### ■ 新契約価値

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3期	前期差 (前期比)	2023/3期	前期差 (前期比)	2023/3期	前期差 (前期比)	2023/3期	前期差 (前期比)
新契約価値	1,670	+1 (+0.1%)	493	△ 81 (△ 14.2%)	1,094	+37 (+3.6%)	82	+44 (+118.0%)

\* 新契約価値は、当期中に販売した新契約（転換契約を含む）の価値を表したものです。

## 2. 国内生命保険事業（損益関係）

(単位：億円)

	3社合算			太陽生命			大同生命			T&Dフィナンシャル生命		
	2023/3期	前期差	前期比	2023/3期	前期差	前期比	2023/3期	前期差	前期比	2023/3期	前期差	前期比
<b>経常収益</b>	<b>31,753</b>	+2,174	+7.4%	<b>9,613</b>	△ 4,785	△ 33.2%	<b>12,330</b>	+2,003	+19.4%	<b>9,809</b>	+4,956	+102.1%
うち保険料等収入	21,683	+3,949	+22.3%	6,433	+451	+7.6%	8,103	+22	+0.3%	7,146	+3,475	+94.7%
うち資産運用収益	5,020	+230	+4.8%	2,147	+403	+23.1%	2,592	+679	+35.6%	280	△ 853	△ 75.3%
うち利息及び配当金等収入	3,262	+45	+1.4%	1,608	+89	+5.9%	1,593	△ 34	△ 2.1%	60	△ 9	△ 13.7%
うちその他経常収益	5,050	△ 2,005	△ 28.4%	1,032	△ 5,640	△ 84.5%	1,634	+1,301	+390.1%	2,382	+2,334	-
<b>経常費用</b>	<b>30,320</b>	+1,160	+4.0%	<b>9,131</b>	△ 6,133	△ 40.2%	<b>11,489</b>	+2,390	+26.3%	<b>9,699</b>	+4,902	+102.2%
うち保険金等支払金	25,426	+3,734	+17.2%	7,265	△ 6,551	△ 47.4%	8,876	+3,708	+71.8%	9,284	+6,576	+242.9%
うち責任準備金等繰入額	28	△ 3,940	△ 99.3%	2	△ 13	△ 84.5%	6	△ 2,109	△ 99.7%	19	△ 1,817	△ 99.0%
うち資産運用費用	1,899	+1,073	+130.0%	715	+345	+93.5%	1,149	+701	+156.6%	35	+26	+320.9%
<b>経常利益</b>	<b>1,432</b>	+1,014	+242.7%	<b>481</b>	+1,347	-	<b>840</b>	△ 387	△ 31.5%	<b>110</b>	+53	+95.0%
特別損益	△ 77	+20	-	△ 27	+9	-	△ 43	+9	-	△ 7	+1	-
契約者配当準備金繰入額	223	△ 19	△ 7.8%	108	△ 17	△ 13.7%	115	△ 1	△ 1.5%	0	+0	-
税引前当期純利益	1,131	+1,054	-	345	+1,374	-	682	△ 375	△ 35.5%	103	+55	+116.0%
法人税等合計	290	+266	-	77	+364	-	189	△ 106	△ 36.0%	23	+8	+51.0%
<b>当期純利益</b>	<b>840</b>	+788	-	<b>268</b>	+1,009	-	<b>493</b>	△ 269	△ 35.3%	<b>79</b>	+47	+148.2%
<b>修正利益</b>	<b>857</b>	+819	-	<b>268</b>	+1,009	-	<b>493</b>	△ 269	△ 35.3%	<b>95</b>	+78	+449.1%
<b>基礎利益</b>	<b>930</b>	△ 799	△ 46.2%	<b>212</b>	△ 250	△ 54.1%	<b>750</b>	△ 546	△ 42.1%	<b>△ 32</b>	△ 2	-
<b>順ざや</b>	<b>557</b>	△ 279	△ 33.4%	<b>420</b>	+78	+23.1%	<b>156</b>	△ 365	△ 70.0%	<b>△ 19</b>	+7	-

\* T&Dフィナンシャル生命の修正利益は、当期純利益から市場価格調整（MVA）に関連する評価性の損益を調整して算出しています。

\* 基礎利益・順ざやは新基準で算出しています。前期差・前期比は、2022/3期を新基準で再計算し算出しています。

## 2. 国内生命保険事業（健全性指標等）

### ■ ソルベンシー・マージン比率

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3末	前期末差	2023/3末	前期末差	2023/3末	前期末差	2023/3末	前期末差
ソルベンシー・マージン比率	920.1%	106.2pt低下	580.9%	153.3pt低下	1,116.1%	87.7pt低下	659.4%	90.1pt低下

### ■ 実質純資産

(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3末	前期末差	2023/3末	前期末差	2023/3末	前期末差	2023/3末	前期末差
実質純資産	18,691	△ 7,983	6,177	△ 2,342	12,632	△ 3,029	645	△ 452

### ■ 有価証券等の差損益（一般勘定）

(単位：億円)

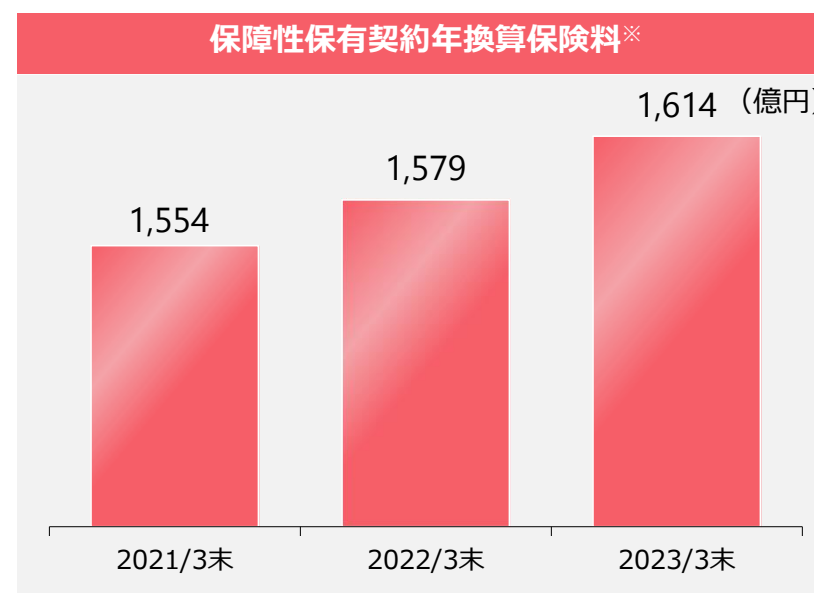
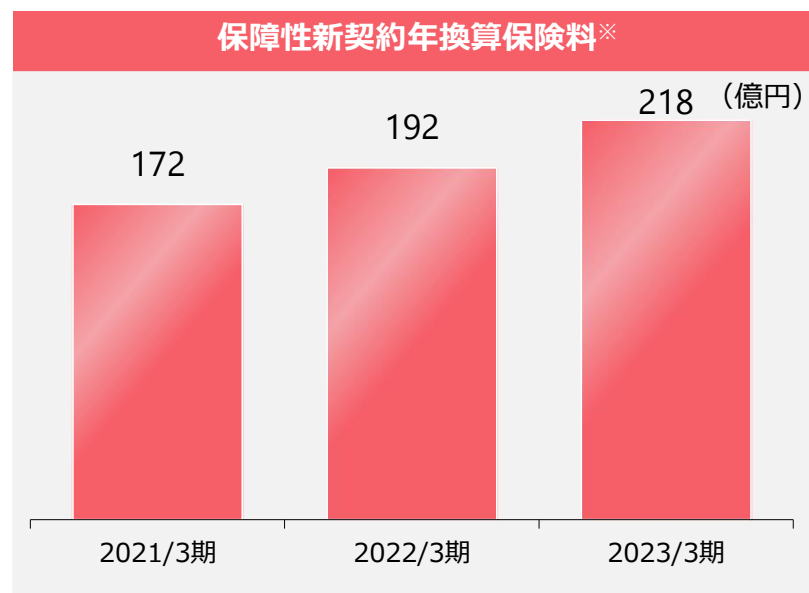
	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3末	前期末差	2023/3末	前期末差	2023/3末	前期末差	2023/3末	前期末差
有価証券の差損益	2,178	△ 6,423	1,617	△ 2,591	838	△ 3,366	△ 277	△ 464
うち公社債	△ 146	△ 3,416	479	△ 1,278	△ 914	△ 2,003	288	△ 135
うち株式	2,501	△ 273	1,306	+200	1,195	△ 473	-	-
うち外国証券	△ 203	△ 2,329	△ 341	△ 1,413	140	△ 913	△ 2	△ 1
うち金銭の信託	△ 545	△ 318	-	-	-	-	△ 545	△ 318
土地等の差損益	1,539	+106	666	+32	873	+73	-	-

\* 有価証券の差損益は、有価証券のうち市場価格のない株式等および組合出資金等は除いています。

\* 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しています。

## 【参考】太陽生命の主要ポイントと状況

- 保障性保有契約年換算保険料<sup>※</sup>は、前年度に引き続き上場以来の最高値を記録。



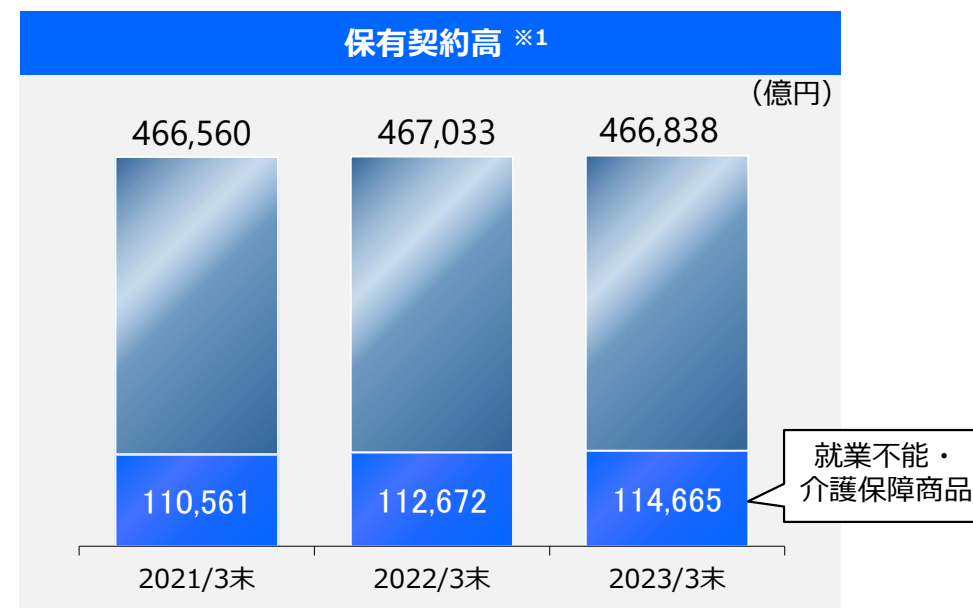
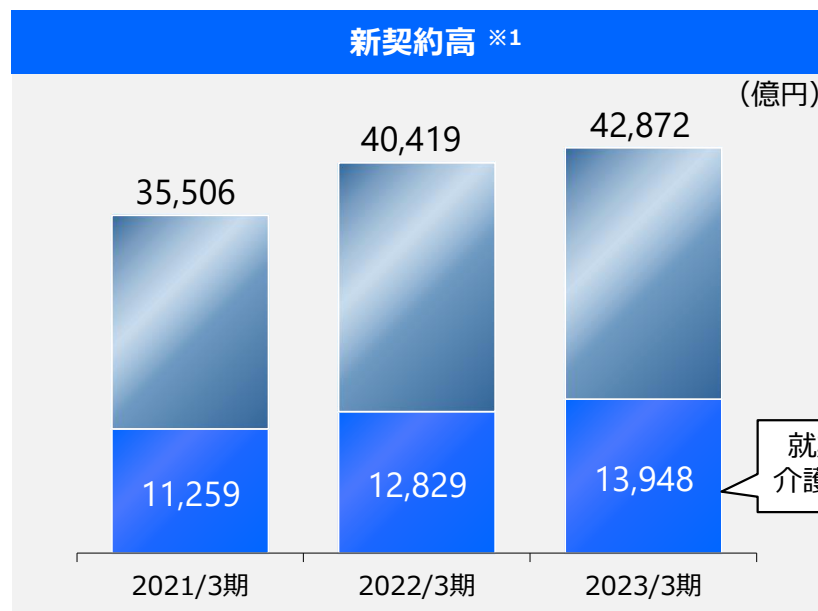
- 保障性新契約年換算保険料<sup>※</sup>は、インフォーマーシャルやインターネット広告等を経由した情報を活用し、対面・非対面を融合させた「ハイブリッド型営業」の推進や、「告知緩和型死亡保険」・「選択緩和型先進医療保険」等の販売が好調であったことにより、前年度から13.4%の増加。
- 保障性保有契約年換算保険料<sup>※</sup>についても、第三分野商品の販売好調により前年度末から2.2%増加し、前年度に引き続き上場以来の最高値を記録。

- ・新たな営業スタイル「ハイブリッド型営業」の確立により、顧客とのアプローチ機会が拡大し新規顧客が増加。
- ・お客さまのさまざまなニーズに対応するため、2022年度に「告知緩和型死亡保険」・「選択緩和型先進医療保険」・「事故割増死亡保険」を販売開始し好調に推移。また、「ひまわり認知症予防保険」等の認知症関連商品の合計販売件数が89万件（2023年3月末時点）を超え、好調な販売が継続。

※ 保障性年換算保険料（太陽生命独自の指標）とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。同指標はE Vの伸展に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標。

## 【参考】大同生命の主要ポイントと状況

- 新契約高は堅調に推移し、前年度から増加。保有契約高は前年度並みの水準を確保。



- 対面・非対面を組み合わせた丁寧なコンサルティング営業の実践等により、お客さまの保障ニーズに対する確にお応えしたことで、主力である定期保険、特にオーダーメイド型商品（aシリーズ）の販売が堅調に推移。
- 「就業不能・介護保障商品」の新契約高も前年度から増加。
- 「新契約高」は堅調に推移。「保有契約高」は前年度並みの水準を確保。

・今後も「定期保険＋就業不能保障保険」のトータル保障提案の推進による加入企業数の拡大に加え、健康経営®※2の総合支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」（KSP）や社長が声をかけあうサイト「どうだい？」など経営支援サービスの提供等を通じて、保険以外でも当社とつながりのある「お客さま」の輪を拡げていく方針。

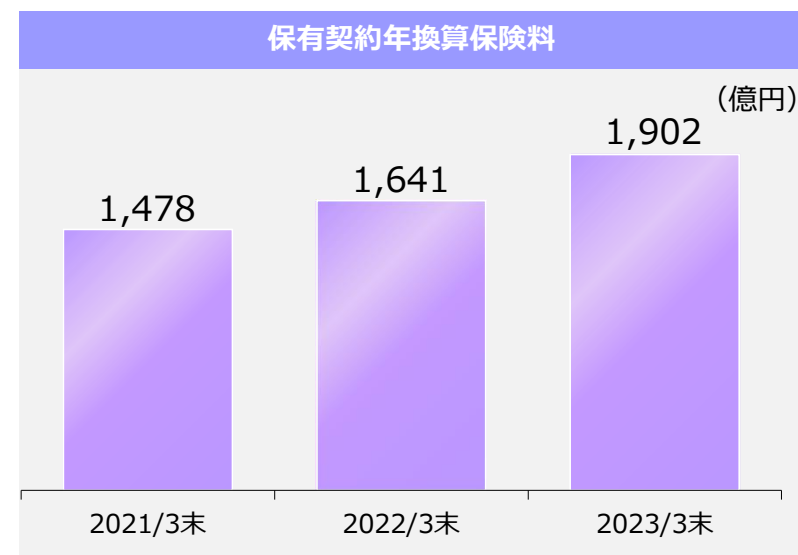
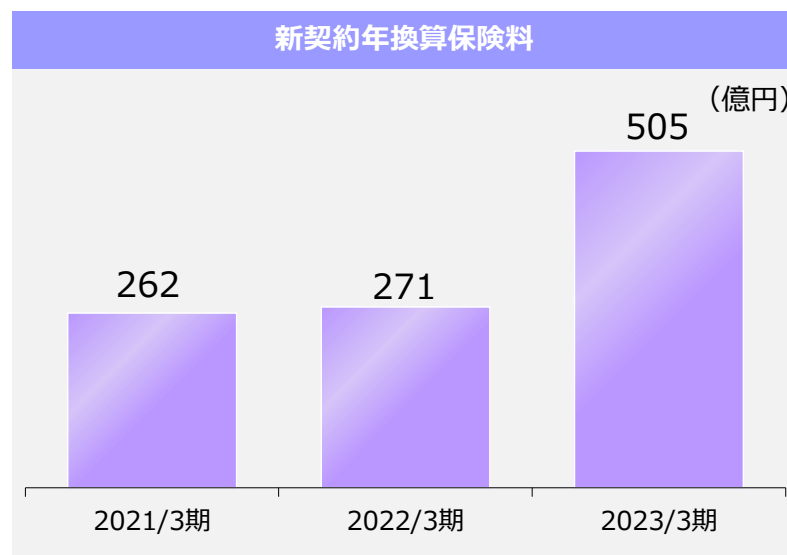
<2023年3月末の利用（登録）数>

「KSP」登録社数：約3.4万社、「どうだい？」利用登録者数：約3.7万名

※1：当ページ記載の「新契約高」「保有契約高」には、「Jタイプ」等の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフa」等の介護保険金額を含みます。  
 ※2：「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

## 【参考】 T &amp; D フィナンシャル生命の主要ポイントと状況

- 新契約年換算保険料は前年度から約1.8倍。保有契約年換算保険料は前年度末から増加。



- 新契約年換算保険料は505億円、前年度から約1.8倍。内外金利上昇による商品の魅力度向上等の影響により、一時払終身保険「生涯プレミアムワールド5」および「生涯プレミアムジャパン5」の販売が堅調に推移。また、変額保険「ハイブリッドシリーズ」も商品浸透および代理店数が拡大したことにより、着実に販売が拡大。
- 保有契約年換算保険料は1,902億円、前年度末から15.9%の増加。

- ・ 「ハイブリッドシリーズ」は、人生100年時代の自助努力による資産形成をサポートする「投資信託」と「生命保険」を融合した変額保険。2022年4月よりシリーズ第3弾となる「ハイブリッド つみたて ライフ」を販売開始。
- ・ 2023年4月からは「円貨プラン」を新設してリニューアルした「ファイブテン・ワールド3」を販売開始。「円貨プラン」は円で着実に資金をふやしつつ、公的介護保険制度の「要支援1」以上から介護・認知症に備えることができる商品。「生涯プレミアムシリーズ」、「ハイブリッドシリーズ」と並んで、同商品の提供により、幅広いお客さまニーズにお応えし、引き続き販売拡大を図る。

### 3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業 (クローズドブック事業等)

#### ■ T & D ユナイテッドキャピタル (連結) の状況

- 会計上の一時的な評価性損益等を調整した修正利益は、米国マーケット変動の影響に伴い、変額年金保険ブロックでの損失が発生したこと等により前期から減少。当期純利益は、フォーティテュード社の米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等を計上したことにより前期から大幅に減少。

(単位：億円)

	2022/3期	2023/3期	前期差
経常収益	0	24	+23
経常費用	87	2,157	+2,069
うち持分法による投資損失	60	2,119	+2,058
経常利益 (△は損失)	△ 86	△ 2,132	△ 2,046
当期純利益 (△は純損失)	△ 79	△ 2,124	△ 2,045
修正利益	186	82	△ 103

### 3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業 (アセットマネジメント事業・損害保険事業)

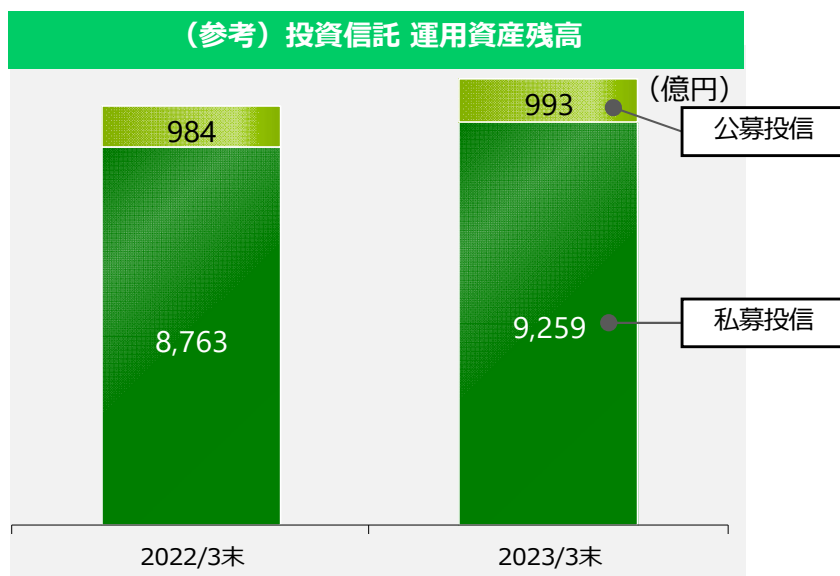
#### ■ T & Dアセットマネジメントの状況

- 主力の投資信託については資金流入超となったものの、運用資産の市場価格下落による影響等から投資顧問を含めた運用資産残高全体が減少し、営業収益\*は前期から減少。経常利益・当期純利益はマイナスとなった。

(単位：百万円)

	2023/3期	前期差
営業収益 (実質ベース)*	2,702	△ 152
経常利益 (△は損失)	△ 133	△ 189
当期純利益 (△は純損失)	△ 251	△ 288

※販売会社や運用委託先への支払いを控除した実質的な営業収入。

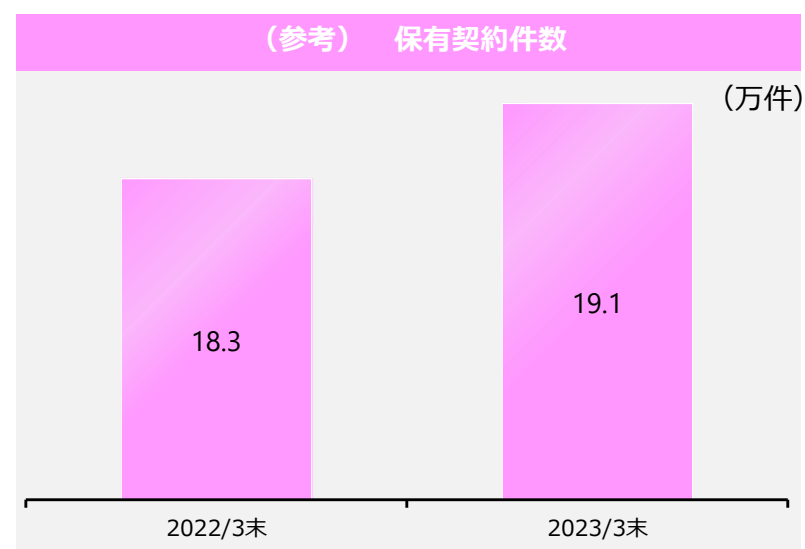


#### ■ ペット&ファミリー損害保険の状況

- 保有契約件数の増加により経常収益は順調に伸展。また、IT技術の活用等を通じ業務効率化を推進したことにより事業費の抑制を図り、当期純利益は前期から増加。今期は黒字に転換した。

(単位：百万円)

	2023/3期	前期差
経常収益	9,887	+1,282
経常利益	202	+332
当期純利益	146	+228





## 4. 通期業績予想・株主還元

### ■ 2024年3月期 通期業績予想

#### 【T&D保険グループ連結】

(単位：億円)

	2023/3期 (実績)	2024/3期 (予想)
経常収益	32,141	25,600
経常利益 (△は損失)	△ 741	1,460
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は純損失)	△ 1,321	870
グループ修正利益	902	1,000

※ 当ページに記載の各予想値は今後様々な要因によって実際の数値と大きく異なることがあります。

#### 【生保3社】

(単位：億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3期 (実績)	2024/3期 (予想)	2023/3期 (実績)	2024/3期 (予想)	2023/3期 (実績)	2024/3期 (予想)
経常収益	9,613	8,600	12,330	10,600	9,809	5,900
経常利益 (△は損失)	481	600	840	890	110	10
当期純利益 (△は純損失)	268	380	493	520	79	0
保険料等収入	6,433	6,700	8,103	8,300	7,146	5,600

### ■ 株主還元

#### 【配当金】

	2022/3期 実績	2023/3期 予定	2024/3期 予想
1株当たり年間配当金	56.0円	62.0円	70.0円
(うち中間配当)	28.0円	31.0円	35.0円

#### 【自己株式取得】

2023年3月期に 帰属する自己株式取得	取得期間 2022/11~2023/3	取得予定期間 2023/5~2024/5
約600 億円	約200 億円	400 億円

- 2023年3月期の株主還元として400億円を上限とする自己株式取得の実施を決定。2022年11月より実施した約200億円とあわせた自己株式取得の実施額は約600億円。

## 【参考】新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況

### ■ 新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況 (3社合算)

(単位：件、億円)

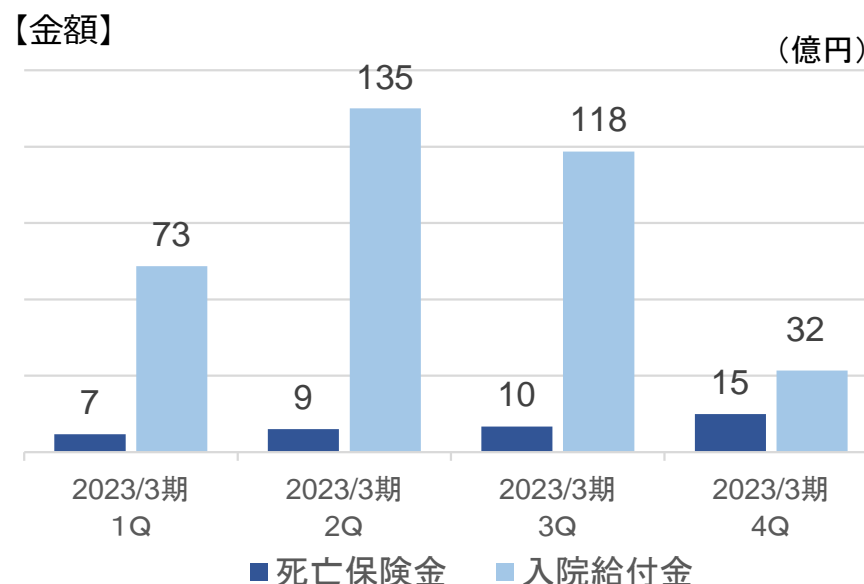
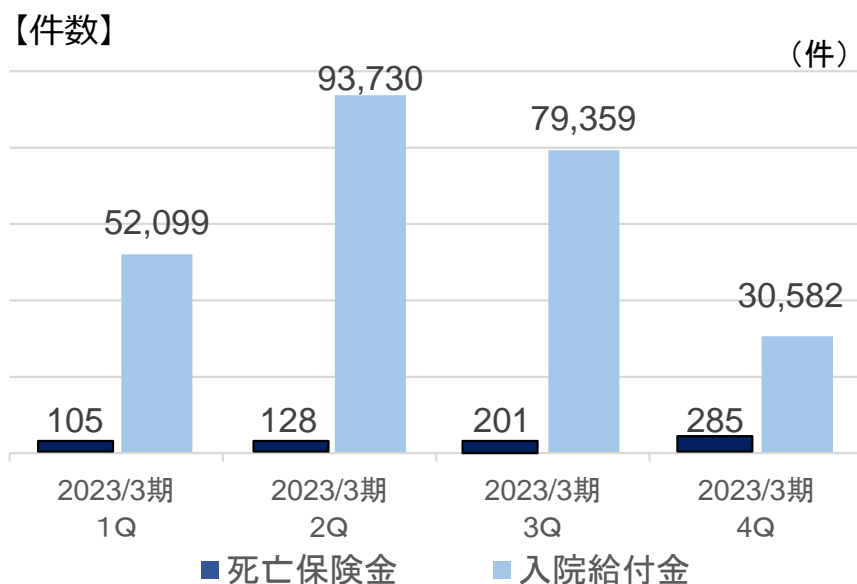
	2021/3期累計		2022/3期累計		2023/3期累計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
死亡保険金	29,037	1,602	30,386	1,649	32,404	1,855
うち新型コロナウイルス感染症関連	209	15	548	47	719	42
入院給付金	276,312	208	319,232	233	726,948	571
うち新型コロナウイルス感染症関連	3,725	3	28,129	35	255,770	358
うちみなし入院 (率) ※金額ベース	約60%		約90%		約99%	

\* みなし入院のお支払対象は、2022年9月26日以降、「重症化リスクが高い」とされる以下の方々に限定。

・65歳以上の方 ・入院を要する方 ・妊婦  
・重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬の投与または新型コロナ罹患により酸素投与が必要な方

\* 保険契約に関する取扱条件等については、各社のホームページをご覧ください。

### ■ 2022年度 新型コロナウイルス感染症関連 支払件数・金額の推移 (3社合算)



さあ、保険の新次元へ。

**T&D** 保険グループ

【お問合せ先】

株式会社 T & D ホールディングス	広報課	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6206
T & D フィナンシャル生命保険株式会社	広報課	TEL 03-6745-6808